



2022年5月16日

カテゴリ: サステナビリティ

成田空港における空港内作業車両への 「濃度100%バイオディーゼル燃料使用実証実験」を実施

JALはCO2排出量削減への取り組みとして、成田空港配備の空港内作業車両(トローイングトラクター(*1))に、既存の軽油の代替燃料として、濃度100%バイオディーゼル燃料(*2)の「B100燃料」を使用する実証実験を開始しました。

本実証実験は、B100燃料の供給を実施する豊田通商株式会社、B100燃料の給油を実施する株式会社JALエアテックと3社での共同実証実験となります。B100燃料の使用により、1年間で1台当たり約6トンのCO2排出量削減効果があると試算しています。

JALは、今後も空港車両のCO2排出量削減に向けた取り組みを推進し、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

(*1)空港制限区域内にて航空貨物やお客さまの手荷物の運送用コンテナを牽引する車両

(*2)廃食用油・植物油を原料とするバイオディーゼル燃料(軽油代替燃料)。バイオディーゼル燃料の成分である脂肪酸メチルエステル(FAME)の精製純度を99.9%という極限まで高純度・高品質化したバイオ燃料。FAMEの原料である植物が成長過程でCO2を吸収していることから、ライフサイクルでのCO2排出量を実質ゼロにすることができる。

1. 期間
2022年5月16日(月) ~ 2023年3月31日(金)
2. 対象空港
成田空港
3. 実験内容
濃度100%バイオディーゼル燃料 B100 燃料をトローイングトラクターに使用
4. 対象車両
成田空港配備 JAL トローイングトラクター 1台

以上

